こんにちは。
島小の３年のみなさん、お礼状（感想文）をありがとうございます！
１１月になりました。読書によい季節です。いろいろな本をじっくり読んでみてください。詩を読むのも楽しいですよ。
むずかしい漢字も書いてありますが、みんなで協力して読んでみてください。こまったら、　　先生に助けてもらってください。

島小の３年生は、元気があり、気持ちのよいあいさつをしてくれます。笑顔であいさつできることは、すてきなことです。それは、お客さんに『楽しい時間をいっしょに過ごしましょう』という気持ちが伝わるからです。どの人とも仲よくしようという心が、笑顔と明るい声に自然に出てくるのです。そういう人は、みんなにすかれ、たくさんの友達ができます。これって、すてきなことでしょう。
また、先生の話をしんけんに聞いています。そして、自分の感じたこと考えたことを話そうという意欲があります。６年生になると、きっと、島小の中心となって「楽しい学校」を作ってくれるでしょう。きたいしています。私に授業できる元気がのこっていたら６年生最後の詩『生きる』をいっしょに味わってみましょう。６年生で、再会できることを楽しみにしています。

返事がおそくなりましたが、一人ひとりに返事を書きます。

あ　　さん（自分の名前は、漢字で書く練習をしましょう）
「楽しかった国語のじゅぎょう」と題を書いてくれましたね、あ　　さん。うれしい題です。あ　　さんは、私のよいところを見つけて「大きな声で、メリハリがあり、明るい先生」とほめてくれました。これからもがんばっていろいろな学級で授業したいという気持ちがわいてきます。ありがとうございます。また、「アドバイスはやさしく、子どもの話はていねいに聞く」と授業で大切にしなければいけないことも教えてくれました。
「とびばこ」の詩と同じ体験があったようですね、あ　　さん。よい詩に出会えました。

こ　さん（自分の名前は、漢字で書く練習をしましょう）
こ　さんと出会えたことをうれしく思います。「とびばこ」という詩は、楽しい詩です。こ　さんも、体育の授業は好きでしょう。とびばこは、何段がとべるのかな。段が高くなると不安になるでしょう。「がんばろう」と「思いきって」とんだから、「不安」をわすれたのですね。それが、「ふみきり板をけって**いた**」と「足が、マットについて**いた**」の「**いた**」に出ています。「けった」、「ついた」とくらべるとよくわかります。思いきってとぶって、気持ちがいいよね。

な　　さん（自分の名前は、漢字で書く練習をしましょう）
な　　さんは「かんそう」という題で書いて「とびばこ」を絵であらわしていることをほめてくれました。この授業のくふうは、この絵にあるのです。そこをほめてもらって大変うれしいです。また、私の字をほめてくれてありがとうございます。私は、　　先生より字が上手ではありませんが、ていねいに書くようにがんばりました。な　　さんも、マス目いっぱいの元気な字が書けています。きっと、６年生になることには、読む人がよろこぶような字で書けるようになります。お互いに字をがんばっていこう！ ろく音しているので、きんちょうしたようですが、ろく音を聞いてみると、そんな感じを受けませんでしたよ。授業中もしっかり考えていましたよ。

ひ　　ん（自分の名前は、漢字で書く練習をしましょう）

お手紙ありがとう。詩「とびばこ」に出会えてよかったですね、ひ　さん。自分の体験とむすびつけてこの詩を読んでいるところが、すてきです。自分とのちがいも発見していますね。この詩の「不安な心」を「とべなく**とも**、がんばる**んだ**」と「思いきって」とんだ作者の姿が目に浮かびます。「思いきりのもとが（**とも**……**んだ**）にこめられていますね、ひ　さん。

ひ　さんの字は、大きくていねいに書かれています。ひじょうに読みやすいです。こういう字を書いてくれると老人は、助かります。もう少し、こい色が出るともっとよいと思いますよ。

ゆ　　さん（自分の名前は、漢字で書く練習をしましょう）

ゆ　　さん、お手紙ありがとう。「今日のじゅぎょうは、本当によかったです」と、よろこびを書いてくれました。そして、ゆ　　さんは、「この絵はどういうように見えるかと、ふだんしないようなことをして、おもしろかった」からとそのわけをくわしく説明してくれました。しっかり考え、説明しているところがすばらしいです。これからも、自分の感じたこと考えたことを分かるように書くおけいこをしてください。絵の使った授業をよろこんでもらって、私も自信になりました。ありがとうございます。ゆ　　さん。きかいがあったら、いっしょに勉強しましょう。

大　さん

どんな先生が来るかとドキドキしていたようですが、詩「とびばこ」を楽しく勉強できてよかったですね、大　さん。詩っていろいろありますよね。おもしろい詩を２つしょうかいします。

さいしょは、「ぞうさん」という歌を作った詩人のまど・みちおさんの１行の詩です。

ケムシ

さんぱつは　きらい

たった、これだけです。毛虫がいっしょうけんめい逃げていくようすが目に浮かびます。そして、毛虫が毛をかられたら、何になるかを考えると深い詩になります。青虫やイモ虫になるならまだよいのですが、死んでしまいます。毛虫は、毛があるから生きていける、毛が命なのです。

次は、詩の仲間の言葉遊びです。聞いたことあるかな。

さよなら　さんかく　　またきて　しかく　　しかくは　とうふ
とうふは　しろい　　しろいは　うさぎ　　うさぎは　はねる
はねるは　かえる　……　……　……　　ひかるは　おやじのはげあたま

これは、場所によっていろいろあるようですが、最初と最後は、どれも同じようです。しり取りになっているところが面白いでしょう。このしり取りは、形・色・動き……となっていて、リズムがあっていいやすいね。いいやすいのは、４音と３音のくり返しになっているからです。

７０歳になる今も、私は、いろいろな学校に行って授業をしています。今回も、校長先生の特別なごはいりょと、たんにんの先生のご協力あったからできた授業です。みなさんから　　校長先生、　　先生、そして、授業を見てくださった　　教頭先生に、私からのかんしゃの気持ちを伝えてください。よろしくお願いします。

寒くなります。けんこうに気をくばり楽しいクリスマスをむかえてください。一言、お礼まで。

平成２６年１１月３日

田　男

島小　３年生のみなさん